

艇友

<本号の内容>

- 1 会長等挨拶
- 2 令和6年度総会報告
- 3 ボート部紹介
- 4 会費納入のお願い

★TOPICS



1 会長等挨拶



防衛大学校艇友会 会長挨拶

我が国を取り巻く極めて厳しい安全保障環境の下、一昨年末、新たな「国家安全保障戦略」、「国家防衛戦略」及び「防衛力整備計画」が策定され、令和6年度予算においても過去最高額の防衛予算が計上されました。現役自衛官の皆さんは新たな組織や装備を部隊に実装し、人材を育成し、訓練により練度を向上させ運用態勢を確立する等、計画を実行に移すことに相当ご苦労なさると思いますが、国民の期待に応えるため頑張るって欲しいと思います。我々自衛官OBも現役の皆さんの支援に努めたいと思います。

一方、コロナが5類扱いとなったこともあり、長く続いたコロナ対策に伴う不自由から解放され、各種社会活動はコロナ以前に戻りつつあります。今年2月には艇友会総会を、昨年に引き続きクラブ水交で一堂に会して実施することが出来ました。この際、学生から「コースタルボートの取得」(4名のスカル型(いわゆるクオドプルタイプ)の艇で、少々波があっても漕ぎ易く、平日ポンド外に出て乗艇練習が可能となる。)について支援依頼があり、艇友会として新艇購入積立金を支出することとしました。



五大学レガッタ後の懇親会の様子

そして4月29日、第67回五大学レガッタが、外語大が当番校でコロナ前と同様の形で開催されました。防衛大からはOBエイト(シニアとヤング)、新人ナックルフォア、女子シングルスカル及び男子フォアに各1艇が参加しました。他大学に比べ練習環境にまだ制約があるため成績は振るいませんでしたが、次の競技大会参加に繋がる良い経験になったと思います。尚、当日は多くのOBOGが応援・激励に駆け付けてくれました。学生達にとって大いに励みになったものと思います。また、学生に確認したところ、本年7月にコースタルボートを取得出来るとのこと。練習環境が好転し、各種大会で成果が挙がることを期待したいと思います。艇友会としても現役学生の支援と会員相互の親睦を二本の柱として、コロナ以前と同様の会務運営に積極的に取り組んで参ります。最後になりますが、会員皆様のご理解とご支援・ご協力をお願い申し上げます。

防衛大学校艇友会会長 山中 洋二



防衛大学校ボート部 部長挨拶

艇友会の皆様には、日頃より学生の活動に対して、ご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。特に、昨年度の総会におきましては海上でも練習可能なコースタルボートの購入をお認め頂き、学生はととても喜んでおります。今年度も4月29日に五大学レガッタを開催することが出来ました。当日は、天候にも恵まれ、また艇友会の皆様の温かい御支援を賜り、無事に終えることができました。心よりお礼申し上げます。この時期の開催は、訓練期間・2学年のカッター競技会など年度初めでなかなか乗艇練習を実施できない、防大ボート部にとっては非常に厳しいものであります。しかし、学生は、4学年のリーダーシップのもとで練習に励み、大いに健闘したと思います。今後は9月のインカレに向けて練習に励んでくれるものと思います。

最後になりますが、艇友会の皆様には、物心両面で引き続き、ご支援、ご進言、ご指導賜ります様、お願い申し上げます。

防衛大学校ボート部部長 寺田 大介



防衛大学校ボート部 監督挨拶

防衛大学校ボート部の校友会活動へのご支援、ご協力に感謝申し上げます。4月より森山監督から監督の任を引き継ぎました保泉です。近年、学生はボート等の経験者が多く入部するようになり、彼らを中心に、大学からボートという新たなスポーツにチャレンジしようと入部する新入生も増え、初心者をお優しく頼もしく育てる防大ボート部の伝統を墨守し、部員がローイングを楽しむ風潮が出来てきました。戸田という遠隔地にある練習場の制約は今も昔も変わりませんが、ポンドという絶好の練習環境を十二分に活用しようという話が学生から持ち上がり、艇友会総会の満場一致のご支援のご賛同を得て、お陰様でコースタルローイング艇を購入することになりました。コースタル艇は日本ローイング協会（JARA）も、全周を海に囲まれた絶好の練習環境にある日本が、新たに力を入れる競技として注目を浴びています。その先陣をきった学生の発想をたたえ、レースでの上位進出を期待したいと思います。今後ともOB皆さまのご支援ご指導の程よろしく願いいたします。

防衛大学校ボート部監督 保泉 哲也

2 令和6年度総会報告

令和6年度の艇友会総会・懇親会については、2月3日にクラブ水交において実施しました。

令和5年度の事業報告、会計決算報告及び監査報告、令和6年度の事業計画及び予算執行計画並びに令和6年度の艇友会役員各議案について、総会参加者一同の了承を得て決議しました。

概要は、以下の通りです。



(1) 令和5年度事業報告

令和5年度に実施された事業は下記の通りです。

時期	事業名	内容	備考
2月4日	理事会	令和4年度会計報告 令和5年度事業及び予算計画審議等	グランドヒル市ヶ谷
2月25日	総会及び懇親会	卒業生に対し三種の神器交付	クラブ水交
3月	春合宿支援	支援金贈呈中止	合宿中止のため
3月～12月	月例練習	横浜市民レガッタ等 (7/14:1位、10/26:1位、12/3:1位)	鶴見川漕艇場
4月29日	五大学レガッタ	OBレース参加	戸田漕艇場 当番校:東工大
6月18日	理事会	艇友発行準備、今後のボート部支援等	グランドヒル市ヶ谷
7月18日	「艇友」発行	郵送:142通 メール:199通	
8月18日	夏合宿支援	支援金贈呈	春合宿支援金もあわせて贈呈
9月6日～10日	全日本インカレ、 オックスフォード盾レガッタ	インカレ:フォア オック桶:エイト(筑波と混成)	戸田漕艇場
11月19日	五大学OB・OG懇親会	6名参加(OB×4名、現役×2名)	東工大大岡山キャンパス

(2) 令和6年度事業計画

令和6年度の事業計画は下記の通りです。

時期	事業名	内容	備考
1月14日	理事会	令和5年度事業及び会計報告 令和6年度事業及び予算計画審議、 総会打ち合わせ等	グランドヒル市ヶ谷
2月3日	総会・懇親会	総会、懇親会	クラブ水交
3月～12月	月例練習	五大学レガッタ・OBレース練習 横浜市民体育大会参加(6/2、10/6) 横浜ポートマラソン(12/1) その他(毎土曜日ペンタ合同練習)	戸田、鶴見川漕艇場
4月29日午後	五大学レガッタ	OBレース参加、応援	戸田漕艇場 当番校:外語大
6月	理事会	艇友発行準備、今後のボート部支援等	グランドヒル市ヶ谷
7月	「艇友」発行		
8月15日～18日	夏合宿支援	支援金贈呈、懇談会	戸田漕艇場
9月4日～8日	全日本インカレ、 オックスフォード盾レガッタ	応援	戸田漕艇場
9月28日～29日	東日本新人選手権競漕大会	応援	戸田漕艇場
10月18日～20日	全日本新人選手権大会	応援	戸田漕艇場
11月(未定)	五大学OB・OG懇親会	講話及び懇親会、学生・OB参加	

(3) 令和5年度会計決算報告

収入の部				
番号	項目	計画額	実行額	備考
1	昨年度からの繰越	3,065,566	3,065,566	
2	OB年会費・寄付等	500,000	140,000	28名
3	新規入会金	30,000	60,000	67期卒業生：6名
4	新艇購入積立金	300,000	145,000	23名29口
5	雑収入		6,690	Tシャツ・ネクタイ
	合計	3,925,566	3,417,256	運営費：1,457,256 新艇積立：1,960,000
支出の部				
番号	項目	計画額	実行額	備考
1	合宿支援費	100,000	100,000	春・夏合宿支援
2	監督・コーチ指導料	20,000	0	
3	新入生勧誘支援	30,000	0	
4	総会・懇親会等支援	150,000	112,500	2/25クラブ水交
5	ホームページ運営費	10,000	10,000	
6	艇友発行費	50,000	23,947	
7	通信連絡費	30,000	35,575	
8	雑費	20,000	18,225	理事会費等
9	予備費	60,000	100,000	インカレ参加支援
	合計	470,000	400,247	
	残金（次年度繰越）		3,017,009	運営費：1,057,009 新艇積立：1,960,000

(4) 令和6年度予算執行計画

収入の部				
番号	項目	5年度計画額	6年度計画額	備考
1	昨年度からの繰越	3,065,566	3,017,009	
2	OB年会費・寄付等	500,000	500,000	
3	新規入会金	60,000	70,000	68期卒業生：7名
4	新艇購入積立金	300,000	300,000	
	合計	3,925,566	3,887,009	運営費：1,627,009 新艇積立：2,260,000
支出の部				
番号	項目	5年度計画額	6年度計画額	備考
1	合宿支援費	100,000	100,000	春・夏合宿支援
2	監督・コーチ指導料	20,000	20,000	
3	新入生勧誘支援	30,000	30,000	
4	総会・懇親会等支援	150,000	150,000	
5	ホームページ運営費	10,000	10,000	名簿管理を含む。
6	艇友発行費	50,000	50,000	
7	新艇購入支援	0	2,157,100	コースタルボート購入
8	通信連絡費	30,000	30,000	
9	雑費	20,000	20,000	
10	予備費	60,000	60,000	R4：五大学当番校
	合計	470,000	2,627,100	
	残金（次年度繰越）		1,259,909	運営費：1,157,009 新艇積立：102,900

(5) 新艇購入積立金

(単位：千円)

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
積立収入	340	300	275	240	180	270	240	135	160	135	145	300
購入支出	435				100							2,157
支出内訳	777				中古 艇							コースター ボート
積立残高	-95	205	475	715	795	1,065	1,305	1,520	1,680	1,815	1,960	103

※令和6年収入
は見込額**(6) 令和5年度役員**

会 長	山中 洋二	(26期陸)	
副会長	佐藤 直人	(28期海)	
	伊藤 秀人	(34期海)	兼現役自衛官担当
理 事	渡辺 辰梧	(29期陸)	会計担当
	保泉 哲也	(26期海)	ホームページ担当
	出端 雅春	(35期空)	総務担当、月例練習等担当 (出端：テール)
	林 憲一	(48期陸)	艇友、名簿担当
監 事	井上 雅仁	(25期海)	監査担当
ボート部監督	保泉 哲也	(26期海)	兼 顧問 (臨時代理)
理事補佐	小笠原(阿部)友美	(52期陸)	現役自衛官(陸)担当
	西戸康一郎	(57期海)	現役自衛官(海)担当
	佐々木陽一	(55期空)	現役自衛官(空)担当
退任	秋山 圭太郎	(31期空)	副会長
退任理事補佐	崎原 匠	(50期陸)	現役自衛官(陸)担当
退任ボート部監督	森山 博仁	(62期空)	兼 顧問

3 ポート部紹介

(1) ポート部の現況等 (部員数：合計22名 (5月26日現在))

4 学年 (69期)	3 学年 (70期)	2 学年 (71期)	1 学年 (72期)
4 名	3 名	10 名	5 名

○ 令和5年度の活動成果

- 3月 春合宿 (3月19日～22日)
- 4月 第66回五大学レガッタ (4月29日)
⇒ 男子エイト：3位、女子ダブルスカル：3位
- 5月 関東理工系レガッタ
⇒ 新人ナックルフォア：決勝1位(2:12)、男子シングルスカル：予選2位(4:18)
女子ダブルスカル：決勝5位(4:47)、男子舵手付きフォア：決勝3位(4:03)
- 8月 夏合宿
- 9月 第50回全日本大学ローイング選手権大会 (9月6日～10日)
⇒ 男子舵手付きフォア：予選4位／5艇(7:42)、敗復敗退(7:57)
第63回オックスフォード盾レガッタ (9月9日～10日)
⇒ 男子エイト：予選4位／5艇(7:24)、敗復4位／5艇(7:28)

○ 令和6年度の活動予定

- 3月 春合宿 (男子：3月18日～20日、女子：3月23日～25日)
- 4月 第67回五大学レガッタ (4月29日)
- 8月 夏合宿 (8月15日～18日)
埼玉県ポート協会会長杯 (8月17日～18日)
- 9月 第51回全日本大学ローイング選手権大会 (9月4日～8日)
第64回オックスフォード盾レガッタ (9月7日～8日)
第47回東日本新人選手権競漕大会 (9月28日～29日)
- 10月 第65回全日本新人ローイング選手権大会 (10月18日～20日)

(2) 艇友会への要望事項

- 例年、春及び夏合宿に際しては合宿支援金を頂いており、非常に感謝しています。引き続きご支援をよろしくお願いいたします。
- 練習環境の改善を図るため、ポンドにおいて沖合での練習が可能となるコースタルボートの導入を検討しており、購入費用のご支援をよろしくお願いいたします。

(3) 審判員資格者の確保

五大学レガッタにおいては審判員を学生主体で派出していますが、OB各位からの支援を3名程度お願いいたします。

(4) 艇の状況等

番号	艇種	艇名	メーカー	保管場所	状態	備考
1	エイト	疾風	EMPACHER	戸田#8	レース使用可	JARA競漕規則 (2022年4月版) 第10条のとおりスト レッチャー整備済み。
2	フォア	富嶽	桑野造船	戸田#8	レース使用可	
3	女子ダブル	大翔	桑野造船	戸田#1	レース使用可	
4	シングル	瑞雲	FILLIPI	戸田#2	練習使用可	
5	女子シングル	輝音	桑野造船	戸田#2	レース使用可	
6	ナックル	なし	不明	ポンド	使用不能	
7	フォア	なし	スイフト	ポンド	練習使用可	
8	エイト	なし		ポンド	使用不能	

4 会費納入のお願い

会員の皆様から納めて頂いている艇友会費（一口5千円／年）については、主として現役学生への支援と艇友会活動に充てています。また、艇の更新（購入）に学校の予算を充てられなくなったことから、平成25年度からは新艇購入の積立（一口5千円）として有志の皆様から積立金を納入していただいているところです。

しかしながら、近年（R4及びR5）の会費納入者は会員数の10%にも満たず、金額も平成25年に比して4割以下と急激に状況が悪化しております。中でも特に若年期の会費納入が滞っており、このままでは将来の学生支援及び艇友会活動への影響が懸念されているところです。

一方、70歳以上（20期以前）の会員におかれましては、会則で会費納入が免除となっているにも関わらず、多くの方からご芳志としてご支援を頂いております。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

そのような状況ではありますが、今年度は学生の希望であったコースタルボートを艇友会の新艇積立金で購入することができましたことは艇友会としても喜びであり、皆様のご協力に感謝申し上げます。

各艇友会員の皆様におかれましては、同期あるいは近傍で勤務する艇友会員にもお声がけいただき、会費納入及びレース艇等の購入に向けての新艇積立金の納入をよろしくお願い申し上げます。

会費の納入要領については最終ページに記載しております。お手数をおかけしますが、重ねてよろしくお願い申し上げます。

(1) 最近の年度別会費等納入状況（令和5年12月31日現在）

暦年	会費・寄付	新艇積立金	合計	平成25年を100とした比率
平成25年	435,000	340,000	775,000	100.00
平成26年	456,000	300,000	756,000	97.55
平成27年	445,000	275,000	720,000	92.90
平成28年	350,000	240,000	590,000	76.13
平成29年	390,000	180,000	570,000	73.55
平成30年	425,000	270,000	695,000	89.68
令和元年	355,000	240,000	595,000	76.77
令和2年	295,000	215,000	510,000	65.81
令和3年	220,000	160,000	380,000	49.03
令和4年	160,000	135,000	295,000	38.06
令和5年	140,000	145,000	285,000	36.77

(2) 卒業期別の会費納入者状況（21期以降、令和4年度－5年度比較）

期	所属	R4	R5	期	所属	R4	R5	期	所属	R4	R5
21	11	2	3	37	5			53	2		
22	10			38	4			54	3		
23	13	1	1	39	4	1	1	55	10		
24	7	2	1	40	6	1		56	3		
25	5	1	1	41	3			57	10		
26	14	2	2	42	3		1	58	7		
27	6	1		43	3			59	12		
28	7	1	1	44	4	1	1	60	9		
29	11	1	2	45	4	1	1	61	5	1	
30	4		1	46	3			62	9		
31	5			47	7			63	10		
32	8			48	8	1	1	64	4		
33	6			49	7			65	4		
34	13			50	5			66	3	3	
35	8	1		51	0			67	6		6
36	2			52	10	1		計	303	22	23

※ 入会費含む

※ 納入者が0名の期については、会長から納入促進メッセージを送付予定

TOPICS

第67回五大学レガッタについて

4月29日に第67回五大学レガッタが開催されました。天候にも恵まれ、各校の現役学生・OBOGによる白熱したレースが繰り広げられました。OBによる審判支援等、皆様の温かいご支援、ご協力ありがとうございました。

時期場所は未定ではありますが、11月に五大学OBOG懇親会も予定されておりますので、会員の皆様におかれましてはご参加の程、よろしくお願いいたします。



OBエイト（シニア）クルー



OBエイト（ヤング）クルー



OBエイトの岸蹴り

練習会について

鶴見川漕艇場が、人数制限及び借艇抽選制の規制が続くため、防大単独での練習をやめ、PENTA合同練習へ切り替えます。各自、4月の五大学シニア、ヤングOB8+へ向けて、以下の伝助へ練習参加意向を入力し技量錬磨に励んでください。また、参加者は、PENTA又は走水ボーイズで6月と10月の横浜市民大会、12月のポートマラソン等へ参加も可能です。鶴見川でお会いしましょう！（pw:penta）

<http://densuke.biz/list?mode=s&cd=YrsfP79Ktcpyx9v9>



防衛大学校艇友会ホームページについて

艇友会では、ホームページにおいて艇友会及び学生の活動状況について逐次情報をアップデートしています。

下記のURLにアクセスしていただき、艇友会の活動状況についてご確認をよろしくお願いいたします。

防大艇友会ホームページ

http://www.bodaidsk.com/community/tomo_boat/

謝 辞 等

昨年度から引き続き機関紙「艇友」を担当しております。防大ボート部を応援したい、艇友会を盛り上げていきたいという気持ちは人一倍だと思っております。艇友の皆様におかれましては、何卒おらかな気持ちでご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

艇友会理事 48期陸 林 憲一

会費の納入要領について

(会費：1口5,000円、新艇購入費：1口5,000円)

ゆうちょ銀行から振込む場合

口座番号：00270-8-6064

口座名：防衛大学校 艇友会

ゆうちょ銀行以外の金融機関から振込む場合

支店名：〇二九(ゼロ・ニ・キュー)

支店番号：029

口座種類：当座貯金

口座番号：6064

口座名義：防衛大学校 艇友会

※お名前に「〇〇キ △ネンドカイヒ シンテイヒ□クチ」を追記頂くと助かります。

例：

(会費のみの場合) 48キ 6ネンドカイヒ

(会費及び新艇購入費3口の場合) 48キ 6ネンドカイヒ シンテイヒ 3クチ